

オシロスコープ

CS-6000 SERIES

400MHz 4現象

CS-6400

250MHz 4現象

CS-6250

150MHz 4現象

CS-6040

100MHz 4現象

CS-6030

CS-6400/CS-6250 概要

CS-6400/CS-6250は、周波数特性が400MHz (CS-6250は250MHz)と広帯域を実現したアナログオシロスコープです。テレビラインカウンタ機能、ペデスタルクランプ機能など映像分野で必要な機能はもちろん、イベントトリガ、DCオフセットなどの便利な機能も装備されています。また、見やすく正確な波形観測のために高輝度型ブラウン管を採用し、繰返し周期の遅い波形なども明るく観測できます。アナログオシロスコープの最高技術の集大成としてデジタルストレージオシロスコープでは測定が困難なアイパターンや映像信号などの複合波形を簡単に観測することができます。

NEW



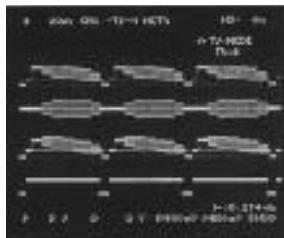
CS-6400

CS-6400/CS-6250 特長

400MHzの広帯域 (CS-6250は250MHz)

全レンジで周波数特性が400MHz(CS-6250は250MHz)と広帯域を実現しています。

ATT搭載の4現象オシロスコープ

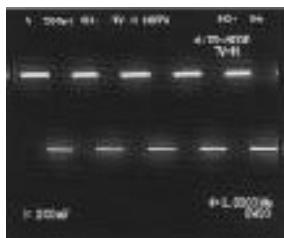


CH1、2はフルレンジATT、
CH3、4は2レンジ切り替え
ATTを搭載しています。

より正確な測定ができる高精度±2%

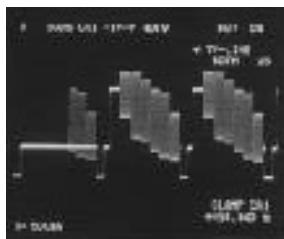
CS-6400、CS-6250は垂直軸、水平軸とも全レンジ±2%の高精度です。信頼性の高い測定を行うことができます。

高精度±0.05%の5桁周波数カウンタ



CS-6400、CS-6250には高精度(±0.05%)の5桁周波数カウンタがついております。信号を入力するだけで正確な周波数を測定できます。

HDTVにも対応のテレビ同期

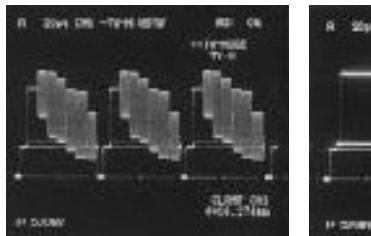


CS-6400、CS-6250にはNTSC、PALはもちろんのことHDTV同期信号にも対応しております。また、テレビラインカウント機能により見たいフレームのライン番号を選択すれば、その波形を観測することができます。

ますのでビデオ信号のトラブルシューティングに威力を発揮します。

ペデスタルクランプ機能

DC成分がカットされた映像信号でもペデスタルクランプ機能を使用することにより信号振幅が変化しても垂直位置を固定して観測することができます。



DCオフセット機能

大振幅信号の一部分だけを拡大して観測したいときに、通常は垂直レンジの感度を上げて垂直ポジションで見たい部分を画面の中央付近に調整します。しかし、垂直ポジションでは調整範囲外になってしまう信号は垂直レンジの感度を落とさざるを得ませんでした。しかし、この機能を使用することにより信号にDCオフセットをかける事ができますので垂直感度を落とさなくても波形の観測ができます。

オートセットアップ機能

AUTO SETのキーを押すだけで電圧軸、時間軸のレンジを自動的に設定します。

パネル設定記憶機能

フロントパネルの設定を最大32ステップまで書き込み、読み出しができる機能を備えています。測定で多用するレンジ等の設定をあらかじめ記憶させておくことにより測定のスピードアップが図れます。

イベントトリガ機能

あらかじめ設定した回数分トリガ信号が入力されると掃引するモードや、バースト信号などにかけやすいバーストモードなど多彩なトリガ機能を搭載しています。

FETプローブ用電源内臓

標準でFETプローブ用電源端子をフロントパネル面に2CH分備えています。オプションのFETプローブを使用する場合に別の電源を用意する必要がありません。

オプション

FETプローブ

SFP-4A 標準価格85,000円(税別)

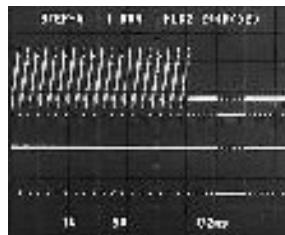
OSCILLOSCOPE

CS-6040/CS-6030 概要

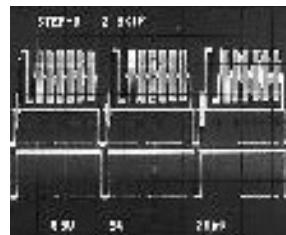
CS-6040/CS-6030は、フロントパネルの設定値を最大100ステップ(20ステップ×5)まで書き込み、読み出しえできるプログラム機能に加え、テレビラインカウンタ機能、トリガーカウント機能を装備。そして誰でも簡単に使えるよう、垂直感度や掃引時間などの設定値を観測波形と同時に表示するCRTリードアウト機能とカーソル機能も合わせて装備しています。さらに、波形の部分拡大ができるオルタネート遅延掃引はもちろん、煩わしい同期操作を解消する自動同期、テレビ同期、可変ホールドオフ、単掃引、高輝度20kV CRT(CS-6030は17kV)など多才な機能を満載。また、ツマミやスイッチなどに使い勝手抜群のロジック・コントロールを採用しました。高機能を使いやすさを凝縮し、多種多様なニーズにお応えします。

特長

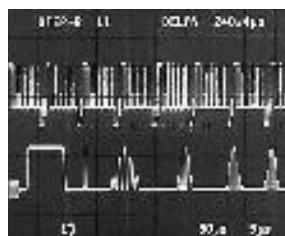
100ステップのプログラム



●ステップ1の(ライト書き込み)状態



●ステップ2のスキップ(飛び越し)状態



●ステップ11のリード(読み出し)状態

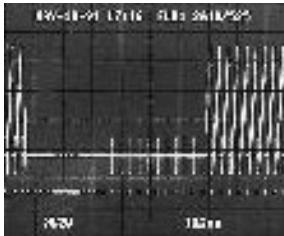
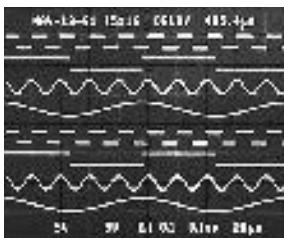
フロントパネルの設定値を最大100ステップ(20ステップ×5)まで書き込み、読み出しえできるプログラム機能を備えています。カーソル、垂直減衰器、掃引時間、同期関係などの設定値をプログラムできますので、反復使用する設定状態を予めプログラムしておき、必要に応じ呼び出すことができます。また、リアパネルのフットスイッチ端子を利用したリモコン操作も可能です。



CS-6040

テレビライン・カウンタ

NTSC/PAL両用のテレビライン・カウンタを装備しています。映像信号中のライン信号をフィールド毎に指定して詳しく観測することができます。

**4現象10トレース**

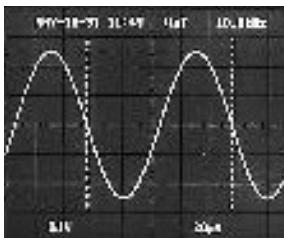
デジタル信号やビデオ信号など複数の信号で構成されている波形も十分観測できる4現象表示。CH1からCH4、ADDのいずれも自由に組み合わせ、単現象から4現象までの信号が観測できるため、各信号間のタイミング測定が可能です。オルタネート遅延掃引機能により主掃引波形の任意の部分を拡大した遅延掃引波形も同時に表示できる4現象10トレース表示です。

トリガーカウンタ

デジタル信号やビデオ信号などの波形解析に威力を發揮するトリガーカウンタ機能、主掃引に対し任意のトリガー一点を計数的に選択して遅延掃引ができます。これによりテレビ信号に含まれるVITS信号の観測やデジタル回路のクロックに対するタイミングの観測が可能になります。

A、B独立したトリガーモード

AトリガーとBトリガーのカッピングとノースを独立させることにより、A、B個々にトリガー条件を設定できますので安定した波形観測が可能です。

リードアウト&カーソル

頻繁に操作するフロントパネルのスイッチやツマミの設定位置を、管面の上下に文字/数字として表示します。垂直軸減衰器、掃引時間切換器、遅延時間、入力切換器などの設定状態が、観測波形と一緒に管面上に表示されますので、視線の移動も少なく観測データが一目で分かります。

管面上にある2本のカーソルによって波形の任意の点に合わせることにより、電圧、時間、電圧比、周波数、位相差などの測定結果が管面の右上にデジタル表示されます。しかもトラッキング・モードになると、2本のカーソルの間隔を保持しながら平行移動させることができますので、同じ電圧、時間、位相などの波形の別の部分の比較測定に便利です。

4チャンネルとも150MHz帯域を確保

垂直增幅器の周波数特定は4チャンネルともDC～150MHzの帯域幅を保証しています(CS-6030は100MHz)。しかも1mV/divの高感度設計です。

機能的で信頼性の高いロジック・コントロール方式

フロントパネルにある、スイッチやツマミはほとんどロジック・コントロールを採用しています。特に垂直減衰器、掃引時間切換器にはロータリエンコーダ、掃引時間微調節器、水平位置調整器、カーソル位置調整器にはエンドレスVRを採用し使い勝手は抜群、しかも、電源を切っても設定ポジションがバックアップされるラストワンメモリつきです。

より正確な測定ができる高精度±2%

信頼性の高い測定をするために、温度10°C～35°C、湿度85%以下の環境のもとで、主定格の垂直軸感度、掃引時間については±2%、その他の仕様も定格値を保証しています。

高輝度プラウン管(20kV)

ビーム透過率をアップさせたドームメッシュ・プラウン管(20kV)の採用により高輝度と高解像度を実現、テレビライン信号もクリアに観測できます。(CS-6030は17kV)

保証されたチャンネル間の時間差

CH1とCH2間の時間差は0.5ns以下、CH1・2とCH3・4間の時間差は1ns以下を保証していますので、ロジック回路などの複数信号の正確なタイミング測定に有効です。

8divのダイナミックレンジ、ひずみのない正確な波形表示

余裕のダイナミックレンジが表示波形のリニアリティを確保していますので、周波数帯域の上限までひずみのない波形が表示されます。

煩わしい同期操作を解消する自動同期(FIX)

波形の振幅に追従して同期レベルを自動的にコントロールし、常に同期のとれた状態に維持する機能です。これにより煩わしい同期操作が不要になりました。

便利なVERTモード

垂直モード切り換えるだけで、自動的に同期信号源も決定されます。ですからトリガーソースをそのつど変更する必要がありません。

OSCILLOSCOPE

その他の特長

●遅延掃引時には B 掃引だけが拡大されるユニークな×10MAG ●同期操作は不要。テレビ信号専用同期「ビデオ・クランプ」搭載 ●信頼性の高いガラス・エポキシ基板を採用 ●便利なカレンダ表示 ●プローブ使用時にも、測定電圧の換算は不要 ●X-Yモードでもカーソルを用いて ΔV_1 、 ΔV_2 の測定が可能 ●遅延時間の分解能はフルスケールの0.02%と高精度 ●最高掃引時間は 2ns/div(×10MAG の時) ●垂直軸信号出力端子つき ●複雑な周期波形も観測できる可変ホールドオフを装備 ●突発現象などの観測に威力を発揮する単掃引を採用 ●単掃引時スケールイルミは一瞬点灯 ●明るさを個別に調整ができる A-INT、B-INT、リードアウト表示 ●高域成分を減衰させ高周波ノイズを除去する 20MHz BWL ●遅延掃引波形を移動させるトレースセパレーションを採用。

CS-6400/CS-6250 定格		
機種名	CS-6400/CS-6250	
プラウン管		
形式	150mm角型(内面目盛、目盛照明付きメッシュレターラウン管)	
加速電圧	約20kV	
有効面	8div×10div(1div=10mm)	
垂直軸系(Y軸)		
垂直モード	CH1、CH2、CH3、CH4、ADD(CH1+CH2)、ALT/CHOP(555kHz±1%)	
CH1、CH2		
感度	レンジ	2mV/div～5V/div、1-2-5ステップ、11段切り換え
	微調器	2mV/div～12.5V/div連続可変
	確度	±2%
周波数特性	帯域幅	DC～400MHz -3dB《CS-6400》 DC～250MHz -3dB《CS-6250》
	帯域制限	DC～約20MHzまたはDC～約100MHzの選択可能《CS-6400》 DC～約20MHz《CS-6250》 〔注〕AC結合時の下限周波数は10Hz
立ち上がり時間		約875ps《CS-6400》 約1.4ns《CS-6250》 〔注〕立ち上がり時間Trは次式からの計算値です。 $Tr = \frac{350}{\text{帯域幅 [MHz]}} \text{ [ns]}$
方形波特性	オーバーシュート	5% (10mV/div、内部50Ωにて)
	サグ	1%(1kHzにて)(10mV/div、内部50Ωにて)
信号遅延時間		20ns以上(画面上の遅延時間)
入力結合		AC、DC、GND
入力インピーダンス		1MΩ±1.5%、16pF±2pF
最大入力電圧		800Vp-pまたは400V(DC+AC peak)(1MΩ時)、5V rms (50Ω時)
VSWR		1.35以下(50Ω時DC～400MHzにて)《CS-6400》 1.35以下(50Ω時DC～250MHzにて)《CS-6250》
オフセット電圧		±1V(2mV/div～50mV/div) ±10V(0.1V/div～0.5V/div) ±100V(1V/div～5V/div)
位置の移動		画面中央から約10div
極性切り換え		CH2のみ可能
ADD	和の確度	±3%(1kHzにて)
	周波数特性	DC～400MHz -3dB《CS-6400》 DC～250MHz -3dB《CS-6250》
	同相除去比	1kHz正弦波=50:1 10mV/divにて 20MHz正弦波=15:1 10mV/divにて
ダイナミックレンジ		400MHzで8div以上振れること 《CS-6400》(10mV/divにて) 250MHzで8div以上振れること 《CS-6250》(10mV/divにて)
プローブセンス		10:1、100:1検出

CS-6000 SERIES

CS-6000 SERIES

オシロスコープ

機種名		CS-6400/CS-6250
CH3、CH4		
感度	レンジ	100mV/div、500mV/div
	確度	±3%
周波数特性		DC～400MHz -3dB《CS-6400》 DC～250MHz -3dB《CS-6250》 〔注〕AC結合時の下限周波数は10Hz
入力結合	AC、DC	
入力インピーダンス	1MΩ±1.5%、16pF±3pF	
最大入力電圧	800Vp-pまたは400V(DC+AC peak)	
位置の移動	画面中央から約10div	
ダイナミックレンジ		400MHzで画面を振り切ること《CS-6400》 250MHzで画面を振り切ること《CS-6250》
プローブセンス	10:1、100:1検出	
同期		
A同期	最小同期レベル	0.4div(DC～10MHz)、1.0div(10MHz～100MHz)、2.0div(100MHz～400MHz) 〔注〕TV:映像信号と同期信号の比が7:3で1.5div以上 HF-REJ:10kHz以上で同期信号を減衰、 LF-REJ:10kHz以下で同期信号を減衰
	信号源	CH1、CH2、CH3、CH4、LINE
	結合方式	AC、DC、HF-REJ、LF-REJ
	スロープ	+, -
	B同期	0.4div(DC～10MHz)、1.0div(10MHz～100MHz)、2.0div(100MHz～250MHz) 〔注〕HF-REJ:10kHz以上で同期信号を減衰、 LF-REJ:10kHz以下で同期信号を減衰
TV同期同期方式	信号源	CH1、CH2、CH3、CH4
	結合方式	AC、DC、HF-REJ、LF-REJ
	スロープ	+, -
	TV方式	ODD、EVEN、BOTH、TV-H
	TVライン	NTSC、PAL(SECAM)、HDTV ODD、EVEN、BOTHで選択可能 NTSC 1H～525H PAL(SECAM) 1H～625H HDTV 1H～1125H
イベントトリガ	TVクランプ	クランプ位置 バックポーチレベル クランプレベル ±1div以内 信号振幅 1.5～8div
	イベントトリガ	カウントモード カウント範囲:1～65535 最高周波数:50MHz バーストモード バースト時間範囲: 0.15μs～9.99s
	AUTO SETUP	対象チャンネル:CH1、CH2 周波数範囲:50Hz～100MHz

機種名		CS-6400/CS-6250
水平軸系(X軸)		
表示方式(HORIZ DISPLAY)		A、ALT、B、X-Y
A掃引		掃引方式(SWEEP MODE) AUTO、NORMAL、SINGLE 掃引時間 最高掃引 500ps/div《CS-6400》、 1ns/div《CS-6250》 レンジ 5ns～500ms/div、1-2-5ステップ、25段切り換え《CS-6400》 10ns～500ms/div、1-2-5ステップ、24段切り換え《CS-6250》 微調器 5ns～1.5s/div《CS-6400》 10ns～1.5s/div《CS-6250》 確度 I ±2%※1(画面中央8divにて) 確度 II ±5%※1(画面中央8div内の任意の2divにて) ※1:VARIABLE ONのときは1%追加 ホールドオブ時間 連続可変
B掃引		遅延方式 同期遅延(TRIG'D DELAY)、連続遅延(RUNS AFTER DELAY) 掃引時間 最高掃引時間 500ps/div《CS-6400》 1ns/div《CS-6250》 レンジ 5ns～20ms/div、1-2-5ステップ、21段切り換え《CS-6400》 10ns～20ms/div、1-2-5ステップ、20段切り換え《CS-6250》 確度 I ±2%(画面中央8divにて) 確度 II ±5%(画面中央8div内の任意の2divにて) 遅延時間 範囲 A掃引の0.2～10.2div 確度 1μs/div～500ms/divにて ±[(設定値×0.005)+(掃引時間×0.1)]～55ns 遅延ジッタ A掃引:1ms/div、B掃引:500ns/divにて1/20000
掃引拡大 倍率		10倍 確度 I※2 (画面中央8divにて) ±5%《CS-6400》(5ns/div～50ns/div) ±5%《CS-6250》(10ns/div～50ns/div) ±3%(100ns/div～500ns/div) 確度 II※1※2 (画面中央8div内の任意の2divにて) ±10%《CS-6400》(5ns/div～50ns/div) ±10%《CS-6250》(10ns/div～50ns/div) ±5%(100ns/div～500ns/div) (※1 掃引開始部:20nsまたは1div、 掃引終了部:20nsを除く ※2 VARIABLE ONのときは1%追加)
X-Y動作		
X軸(CH1)	感度	レンジ CH1と同じ
	確度	±2%
	周波数特性	DC～2MHz -3dB
Y軸		CH1、CH2、CH3、CH4、ADD
位相差		3°以内(DC～200kHz)

OSCILLOSCOPE

機種名		CS-6400/CS-6250
CAL(校正用信号)		
波形の種類		方形波
周波数		1kHz±0.1%
デューティサイクル		49%~51%
出力電圧		0.6V±1%
CH2 OUT		
出力感度		20mV±30%(50Ω負荷終端時)
出力電位		±100mV(50Ω負荷終端時)
出力結合		直流結合
周波数特性		200MHz -3dB(50Ω負荷終端時) 『CS-6400』
		100MHz -3dB(50Ω負荷終端時) 『CS-6250』
出力抵抗		50Ω±20%
Z AXIS IN		
輝度変調電圧		0.5Vp-p以上
極性		正の電圧で暗くなり、負の電圧で明るくなる
周波数範囲		DC~5MHz
入力抵抗		5kΩ±20%
最大入力電圧		80Vp-pまたは40V(DC+AC peak)
カーソル測定とカウンタ		
カーソル測定の種類		時間差(Δt)、電圧差(Δv)
カーソル移動範囲	X軸:両面中央から±(5±0.2)div	
	Y軸:両面中央から±(4±0.2)div	
確度	電圧差(Δv)	±[(2% of reading)+(0.3% of full scale)]
	時間差(Δt)	±[(2% of reading)+(0.3% of full scale)]
	MAG OFF	±[(3% of reading)+(0.3% of full scale)]
	MAG ON (MAG×10)	±[(5% of reading)+(0.3% of full scale)] 『CS-6400』
	500ns~100ns/div	±[(5% of reading)+(0.3% of full scale)] 『CS-6250』
	50ns~5ns/div	
カウンタ	5ns~10ns/div	
	表示桁数	5桁
	確度	±0.01%
周波数測定範囲		2Hz~400MHz
データ保存		
保存データの種類		内蔵電池によるバックアップ 電源OFF※3直前のパネルセットアップ条件、セーブされたパネルセットアップ条件(最大保存データ数は256個)、コメント12文字※3:電源コードをコンセントから抜いた状態
バックアップ時間		約30,000時間(約25°Cにて)
電源		
電圧範囲		AC100V~240V (電圧変動は±10%以内)
周波数範囲		48Hz~440Hz
消費電力		110VA以下

機種名		CS-6400/CS-6250
質量/寸法		
質量		約8.5kg
外形寸法		約320(W)×160(H)×420(D)mm
【注】付属品および突起物を含ます。		
環境条件		
仕様保証温度範囲		10°C~35°C
動作範囲	温度	0°C~40°C
	湿度	90%RH(0°C~40°C)以下
保存範囲	温度	-20°C~70°C
	湿度	80%RH(-20°C~70°C)以下
高度	動作時	5,000m、気圧 約55kPa
	非動作時	15,000m、気圧 約12kPa
予熱時間		本器の性能規格は、電源投入から30分以上経過した後の保証値です。

CS-6000 SERIES

CS-6000 SERIES

オシロスコープ

CS-6040/CS-6030定格		
機種名	CS-6040	CS-6030
プラウン管		
形状	150mm角型(内面目盛つき)プラウン管	
加速電圧	約20kV	約17kV
蛍光体	P31(緑色)	
目盛	8×10div(1div=10mm)、0、10、90、100%目盛つき	
垂直軸(CH1、CH2共通)		
動作様式	CH1:CH1単現象および他チャンネルとの組み合わせによる4現象表示 CH2:CH2単現象および他チャンネルとの組み合わせによる4現象表示 CH3:CH3単現象および他チャンネルとの組み合わせによる4現象表示 CH4:CH4単現象および他チャンネルとの組み合わせによる4現象表示 ADD:CH1、CH2の加算波形および他チャンネルとの組み合わせによる4現象表示 ALT:オルタネート方式で信号を表示 CHOP:チョップ方式で信号を表示	
減衰器	1mV/div～5V/div 1.2-5ステップ 12レンジおよび微調 確度5mV/div～5V/div±2%(10°C～35°C) 1mV/div～2mV/div±4%(10°C～35°C)	
周波数特性	DC	DC～150MHz(-3dB)、(5mV/div～5V/div)
		DC～20MHz(-3dB)、(1mV/div～2mV/div)
	AC	5Hz～150MHz(-3dB)、(5mV/div～5V/div)
		5Hz～20MHz(-3dB)、(1mV/div～2mV/div)
入力インピーダンス	1MΩ±1%、20pF±3pF	
立ち上がり時間	約2.3ns(5mV/div～5V/div)、約17.5ns(1mV/div、2mV/div) 約3.5ns(5mV/div～5V/div)、約17.5ns(1mV/div、2mV/div)	
クロストーク	-40dB以下(1kHz)	
信号遅延時間	約10ns(管面上における遅延時間)	
極性反転	CH2のみ可能	
最大入力電圧	800Vp-pまたは400V(DC+AC peak)	
最大無ひずみ振幅	8div以上(DC～150MHz)	
周波数帯域制限	約20MHz	
チョップ周波数	約500kHz	
チャンネル間遅延時間差	CH1～CH2間:0.5ns以下 CH1、CH2～CH3、CH4間:1ns以下	
垂直軸(CH3、CH4共通)		
感度	0.1V/div、0.5V/div 確度±2%(10°C～35°C)	
周波数特性	DC:DC～150MHz(-3dB)	DC:DC～100MHz(-3dB)
入力インピーダンス	1MΩ±1%、20pF±3pF	
入力結合方式	DCのみ	
立ち上がり時間	約2.3ns	約3.5ns
最大入力電圧	800Vp-pまたは400V(DC+AC peak)	
水平軸(CH2入力)		
動作様式	HORIZ・MODEをX-Yに設定するCH1～CH4およびADD:Y軸 CH2:X軸	
感度	垂直軸CH2に同じ	
確度	垂直軸CH2に同じ	
入力インピーダンス	垂直軸CH2に同じ	
周波数特性	DC:DC～2MHz(-3dB) AC:5Hz～2MHz(-3dB)	
X-Y位相差	3°以下(100kHzにて)	

OSCILLOSCOPE

機種名	CS-6040	CS-6030
掃引回路		
掃引方式	A: A掃引 A-INT-B: A掃引中に輝度変調されたB掃引部分を同時表示 ALT: A掃引(A-INT-B)とB掃引とのオルタネート表示 B: 遅延掃引 X-Y: X-Yオシロスコープ	
掃引時間(A)	20ns/div～0.5s/div 確度±2%(10°C～35°C) 1-2-5ステップ×3レンジおよび微調	
掃引時間(B)	20ns/div～50ms/div 確度±2%(10°C～35°C) 1-2-5ステップ×20レンジおよび微調	
拡大掃引(×10MAG)	×10倍±5%(A, B共)	
直線性	20ns/div～0.5s/div	±3% ×10MAG時 ±5%
ホールドオフ	A掃引はNORMの5倍以上連続可変可能	
トレースセパレーション	A掃引に対しB掃引を下方向に約4div連続可変(ALT掃引時)	
遅延方式	連続遅延、同期遅延およびトリガーカウント	
遅延時間	A SWEEP TIME/DIVの0.2～10倍	
トリガーカウンタ	1～2,000カウント、最大使用周波数10MHz	
遅延確度	±(設定値の2%+フルスケールの1%)+(0～100ns)	
遅延ジッタ	20,000:1	
同期		
Aトリガーモード	AUTO、NORM、SINGLE、FIX	
トリガーソース	V.MODE、CH1、CH2、CH3、CH4、LINE	
結合方式	AC、NOISErej、HFrej、DC、TV-FRAME (TVカウント時FLD1/FLD2、525/625ライン切り換え可能)、TV-LINE	
極性	正および負	
Bトリガーモード	STARTS AFTER DELAY、B TRIGGERABLE AFTER DELAYおよびトリガーカウンタ	
トリガーソース	CH1、CH2、CH3、CH4	
結合方式	AC、NOISErej、HFrej、DC、TV-LINE	
極性	正および負	
校正電圧	1Vp-p±1%(正極性 1kHz±3% 方形波)	
輝度変調		
入力電圧	0～+5V、電圧に応じて暗くなる。+5Vにて消える	
入力インピーダンス	約10kΩ	
周波数特性	DC～10MHz	
最大入力電圧	50V(DC+AC peak)	
垂直軸信号(CH1のみ)		
出力電圧	約50mVp-p/div(50Ω負荷)	
出力インピーダンス	約50Ω	
周波数特性	100Hz～150MHz(-3dB)、50Ω負荷時	100Hz～100MHz(-3dB)、50Ω負荷時
トレース・ローテーション	プロトパネルより調節可能	
環境条件		
仕様保証温度湿度範囲	10°C～35°C、85%以下	
動作保証温度湿度範囲	0°C～50°C、85%以下	
保存温度範囲	-20°C～70°C、85%以下	
電源	AC100/120V/220V/230V±10%(最大AC250V) 約73W	
外形寸法/最大寸法	310(W)×150(H)×400(D)mm/332(W)×163(H)×448(D)mm	
質量	約9kg	
付属品	取扱説明書1部 アッテネータプローブC-31 2本 電源コード1本	

■リードアウト (CS-6040/6030共通)

カレンダー	年/月/日/時/分 時計確度±2分/月、電池寿命約3万時間
設定および設定値	CH1～CH4 スケールファクタ(プローブ検出付) GND、AC/DC、V-UNCAL ADD、 INVERT、BW A、B 掃引スケールファクタ(MAG換算) SWEEP VARIABLE UNCAL X-Y(CH2-X) DELAY TIME TRIG COUNT TV COUNT
カーソルモード ΔV1: ΔV2: ΔT: 1/ΔT: RATIO: PHASE:	CH1およびCH3スケールファクタによらず△カーソル間の電圧差 CH2およびCH4スケールファクタによらず△カーソル間の電圧差 掃引スケールファクタによるREF-△カーソル間の時間差 掃引スケールファクタによるREF-△カーソル間の周波数 管面5divを100%としてAREF-△カーソル間の電圧比、時間比 管面5divを360°としてAREF-△カーソル間の位相差
カーソル測定 分解能 測定誤差 測定範囲	10bit ±3% 垂直方向 管面中央より ±3.6div以上 水平方向 管面中央より ±4.6div以上

■同期感度 (A、B)

同期結合	同期周波数範囲	最小同期振幅
DC	DC～50MHz	1div
	DC～150MHz(CS-6030は100MHz)	1.5div
AC	20Hz～50MHz	1div
	20Hz～150MHz(CS-6030は100MHz)	1.5div
NOISErej	最小同期振幅の2倍	
HFrej	30kHz以上で最小同期振幅が増加する	
TV-FRAME	1div(140IRE)	
TV-LINE	1div(140IRE)	

AOTO:50Hz以上で上記定格になる

FIX:40Hz以上で上記定格になる

ジッタ:0.5ns以下(150MHz入力 2ns/div、CS-6040)

0.5ns以下(100MHz入力 2ns/div、CS-6030)

■プログラムモード (CS-6040/6030) 共通

プログラム容量	20ステップ×5ブロック
CURSORS	
CURSORS MODE	ΔV1、ΔV2、ΔT、1/ΔT、TRACKING
CURSORS	AREF、Δ
VERTICAL	
VERTICAL MODE	CH1:CH2、CH3、CH4、ADD、CHOP、 ALT、CH2 INV、20MHz BWL
ATT	CH1:CH2、CH3、CH4
AC、DC、GND	CH1、CH2
HORIZONTAL	
HORIZONTAL MODE	A、A INT B、ALT、B、X-Y
SWEEP TIME	A、B
POSITION	HORIZONTAL POSITION
DELAY TIME	DELAY TIME
TRIGGERING	
A SOURCE	VERT、CH1、CH2、CH3、CH4、LINE
A COUPLE	AC、NOISErej、HFrej、DC、TV、 FRAME、(TV COUNT FLD1/FLD2、 525/625)、TV LINE
A SLOPE	+/-
B SOURCE	TRIG DELAY(CH1、CH2、CH3、CH4)、 AFT DELAY、TRIG COUNT
B COUPLE	AC、NOISErej、HFrej、DC、TV LINE
B SLOPE	+/-
SWEEP MODE	AUTO、NORM、SINGLE、FIX
プログラムステップ入力	
入力電圧	TTLレベル(3.5Vp-p以上)“L”でステップアップ
入力インピーダンス	約10kΩ
最大入力電圧	50V(DC+AC peak)